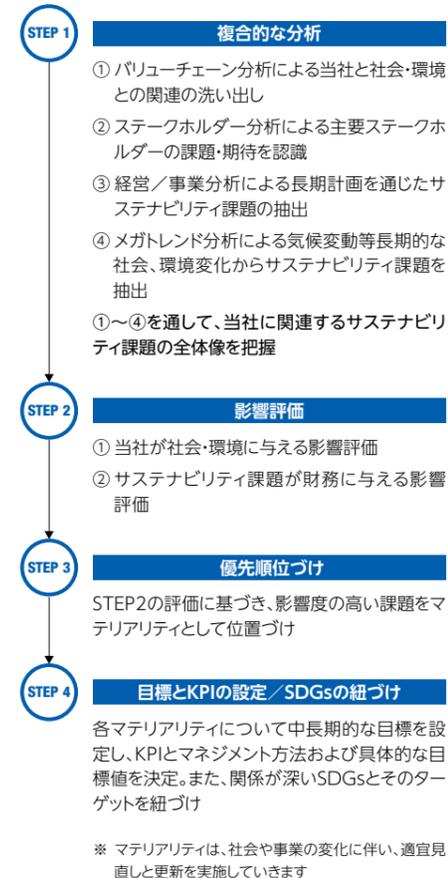


## 東洋建設グループの マテリアリティ

2022年度、当社は事業活動を通じて解決すべき課題を、東洋建設グループのマテリアリティとして特定しました。当社では、特定において、サステナビリティに関する国際的な動きをリードしているEUで先行しつつある「ダブルマテリアリティ」の考え方を取り入れました。「ダブルマテリアリティ」は、当社が社会・環境に与える影響とサステナビリティ課題が財務に与える影響との両面から重要課題を抽出する特定手法です。当社は導き出されたマテリアリティに本業を通して取り組み、持続可能な社会に貢献していきます。

マテリアリティ	サブ課題
E カーボンニュートラル社会の実現 選定理由はP42へ	洋上風力発電施設建設の推進 ZEB/ZEHへの取り組み
	事業活動から排出されるCO <sub>2</sub> の削減
S 環境負荷の軽減 選定理由はP42へ	事業が与える自然生態系への負荷の軽減
	建設廃棄物の削減によるサーキュラーエコノミーへの貢献 ReReC <sup>®</sup> の推進
S 高品質かつ顧客ニーズに応えられる建設物の提供 選定理由はP52へ	顧客ニーズに応えられる技術力、提案力の向上
	建設物の品質の確保
S 防災・減災への貢献 選定理由はP52へ	防災・減災、災害復旧等に貢献する技術・研究開発の推進

### マテリアリティの特定プロセス



マテリアリティ	サブ課題
G ガバナンス体制の強化継続 選定理由はP34へ	ガバナンスの強化
	コンプライアンスの徹底
	サプライチェーンのESGへの取り組み推進
	情報セキュリティの強化
S 魅力ある建設産業の実現 選定理由はP52へ	労働安全衛生の推進
	人財育成・担い手確保の推進
	職場環境の改善
S 人権尊重の徹底とダイバーシティの推進 選定理由はP52へ	ダイバーシティ&インクルージョンの推進
	人権への理解向上と侵害防止
S 社会貢献活動によるサステナブルな社会の実現 選定理由はP52へ	

KPI	2022年度目標	関連するSDGs
<ul style="list-style-type: none"> <li>建設に携わった洋上風力発電施設の設備容量 ※1海域当たりの総出力量=約500MW</li> <li>ZEB・ZEH-M建物受注件数</li> <li>温室効果ガス削減率 SCOPE1・2 (施工時原単位2013年度比削減率) SCOPE3(カテゴリ11) (設計施工物件の運用時CO<sub>2</sub>排出量削減率)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1,500MW以上(2030年度(累計)、施工年度計上) ※火力発電所1基=約50MW相当</li> <li>2件以上(提案件数8件以上)</li> </ul>	7, 11, 13
<ul style="list-style-type: none"> <li>生物多様性に配慮した提案・設計件数</li> <li>生物多様性、自然生態系への負荷軽減に資する研究開発の論文公表件数</li> <li>生物多様性に寄与する工事施工件数</li> <li>カーボンニュートラル・ブルーカーボンに関する研究開発の論文公表件数</li> <li>油流出事故件数</li> <li>騒音・振動によるクレーム件数</li> <li>建設廃棄物リサイクル率</li> <li>省エネ化ReReC<sup>®</sup>提案件数</li> <li>ReReC<sup>®</sup>受注高</li> <li>特許出願数</li> <li>研究開発の論文公表件数</li> <li>不適合・クレーム発生件数</li> <li>工事成績評価対象年度平均点(国土交通省発注港湾工事)</li> <li>品質に関する表彰状・感謝状受領件数(民間工事)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>SCOPE1・2/40%以上削減</li> <li>45%以上削減(2030年度)</li> <li>SCOPE3カテゴリ11/50%以上削減</li> <li>65%以上削減(2030年度)</li> <li>7件以上</li> <li>3件</li> <li>10件以上</li> <li>3件</li> <li>0件</li> <li>0件</li> <li>98%以上</li> <li>2件</li> <li>70億円</li> <li>15件</li> <li>18件以上</li> <li>0件</li> <li>80点以上</li> <li>10件以上</li> </ul>	9, 11, 12, 14, 15
<ul style="list-style-type: none"> <li>防災・減災、災害復旧等に関する技術・研究開発の論文公表件数</li> </ul>	10件以上	11, 13

<ul style="list-style-type: none"> <li>役員指名・報酬委員会開催回数</li> <li>取締役会の実効性評価実施回数</li> <li>重大な法令違反件数</li> <li>コンプライアンス研修受講率(対研修受講対象者総数)</li> <li>コンプライアンスに関するe-ラーニング受講率</li> <li>CSR調達ガイドラインの制定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>4回以上</li> <li>1回</li> <li>0件</li> <li>100%</li> <li>100%</li> <li>—</li> </ul>	16
<ul style="list-style-type: none"> <li>重大な情報セキュリティ事故件数</li> </ul>	0件	9, 16
<ul style="list-style-type: none"> <li>死亡事故件数</li> <li>度数率</li> <li>職員能力向上教育受講率</li> <li>労働安全に関するe-ラーニング受講率</li> <li>新卒採用者3年以内定着率</li> <li>新規資格取得者数 博士号 技術士、コンクリート技術士、海洋・港湾構造物維持管理士 一級建築士 一級建築施工管理技士</li> <li>生産性向上に資するICT/DXツールの新規導入件数</li> <li>建設キャリアアップシステム技能者登録率</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>0件</li> <li>0.5以下</li> <li>100%</li> <li>100%</li> <li>3年平均85%以上</li> <li>1名以上 2019年度比10%増(19年度330名→22年度365名)</li> <li>3名 20名以上</li> <li>5件</li> <li>100%</li> </ul>	3, 8, 4, 6, 8, 10
<ul style="list-style-type: none"> <li>4週8閉所実施率</li> <li>時間外労働時間数(管理監督者を含む全従業員)</li> <li>作業所勤務者の年間休暇取得日数</li> <li>国内作業所(土木)への快適トイレ設置件数</li> <li>新卒女性総合職採用数</li> <li>女性総合職増加率(2020年度比)</li> <li>女性管理職増加率(2020年度比)</li> <li>障がい者雇用率</li> <li>定年者再雇用率</li> <li>男性の育児休暇取得者数</li> <li>ハラスメント研修受講者率(対研修受講対象者総数)</li> <li>人権方針の策定</li> <li>フィリピン・ケニアでの奨学金制度設立</li> <li>海外に安全なトイレを提供</li> <li>アマモ場育成プロジェクト等への参加件数</li> <li>海岸清掃活動の実施回数</li> <li>障がい者アート作品の掲載件数</li> <li>子どもの未来応援基金(自動販売機+マッチング拠出)</li> <li>青い羽根募金</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>土木作業所:70%</li> <li>建築作業所:40%</li> <li>全作業所:4週5閉所以下ゼロ</li> <li>月50時間・年600時間以内</li> <li>120日以上</li> <li>—</li> <li>新卒採用者の20%以上</li> <li>250%(2030年度)</li> <li>500%(2030年度)</li> <li>法定雇用率(2.3%)以上</li> <li>—</li> <li>25%</li> <li>100%</li> <li>—</li> <li>—</li> <li>—</li> <li>—</li> <li>—</li> <li>—</li> <li>—</li> <li>—</li> <li>—</li> </ul>	3, 6, 8
<ul style="list-style-type: none"> <li>目標:1~17すべて</li> </ul>		目標:1~17すべて